



神戸市立神戸アイセンター病院
神戸市立医療センター中央市民病院
国立大学法人大阪大学
国立大学法人京都大学 iPS 細胞研究所
国立研究開発法人理化学研究所

「滲出型加齢黄斑変性に対する他家 iPS 細胞由来網膜色素上皮細胞懸濁液移植 に関する臨床研究」の移植後 1 年の経過観察終了の報告について

▶概要

神戸市立医療センター中央市民病院、神戸市立神戸アイセンター病院、国立大学法人大阪大学医学部附属病院、国立大学法人京都大学 iPS 細胞研究所並びに国立研究開発法人理化学研究所が連携して実施した「滲出型加齢黄斑変性に対する他家 iPS 細胞由来網膜色素上皮細胞懸濁液移植に関する臨床研究」（総括責任医師：栗本 康夫）に関して、移植後 1 年の経過観察を終了した旨の報告を、本日第 123 回日本眼科学会総会（場所：東京国際フォーラム）において下記の通り発表いたしました。

▶学会発表概要

総会名：第 123 回日本眼科学会総会（平成 31 年 4 月 18 日～4 月 21 日）

会 場：東京国際フォーラム（東京都千代田区）

発表日：平成 31 年 4 月 18 日

演 題：加齢黄斑変性に対する HLA 適合同種 iPS 細胞由来網膜色素上皮細胞移植

演 者：高橋 政代（理化学研究所、神戸アイセンター病院）

他 11 名の共同演者（理化学研究所、神戸アイセンター病院、大阪大学、京都大学）

▶発表趣旨（学会資料抜粋）

- ・平成 29 年 3 月から 9 月にかけて、滲出型加齢黄斑変性に対する他家 iPS 細胞由来網膜色素上皮細胞懸濁液移植の安全性を確認する臨床研究を 5 例実施し、移植後 1 年の経過観察を全て終了した。
- ・全例において、他家 iPS 細胞由来網膜色素上皮細胞に対する免疫反応を、免疫抑制剤の投与なしに局所ステロイド投与のみで抑えることが可能であった。
- ・HLA 適合させた他家 iPS 細胞由来網膜色素上皮細胞の移植後 1 年での安全性が確認された。
- ・詳細については、論文準備中。

▶参考情報

平成 29 年 2 月 2 日	厚生労働大臣より再生医療等提供基準に適合との通知（会見済）
” 2 月 6 日	臨床研究の開始及び被験者の募集の開始（会見済）
” 3 月 28 日	1 例目の移植手術の実施（中央市民病院）（会見済）
平成 30 年 1 月 15 日	2 例目の被験者に対し、追加手術を実施（会見・報告済）
平成 31 年 4 月 18 日	移植後 1 年の経過観察終了（本プレス発表）

▶問い合わせ

神戸市立神戸アイセンター病院事務局

TEL：078-381-9870